

令和5年度事業報告

(はじめに)

内閣府のレポートでは、2023年の日本経済はコロナ禍を乗り越え、緩やかな回復基調を取り戻しました。ただし、業況や収益など企業部門は好調である一方、これが賃金や投資に十分に結び付かず、内需は力強さを欠いています。個人消費は、コロナ禍で積み上がった超過貯蓄が高所得層を中心に本格的には取り崩されていないことも力強さを欠く一因となっており、賃金の継続的な上昇等を通じた将来の成長期待の引上げが重要としています。

そんな情勢の中、我が国の平均寿命・健康寿命の延伸、65歳以上高齢者人口は毎年過去最高を更新しており、政府は70歳代でも高い就業継続意欲が見られる現況を踏まえ、生涯現役で働き続けられる雇用・就業環境の整備を推進しています。

当センターも年度末の現況を見れば、70歳以上の会員が81.2%(323名)を占めその内男性会員が60.3%(195名)、女性会員が39.6%(128名)で、70歳台を中心に80歳代での就業が当たり前となってきています。

また、令和5年度は加東市の全社会体育施設が民間企業への指定管理移行により約9,000千円の受注数・契約金額の減少、5月末発生の取引先民事再生申立て貸倒損失が約2,300千円など、重大な事態が発生し、契約金額その他に大きく影響を及ぼしましたが、翌年度へ約6,000千円を繰越(黒字)できたのは、精勤に就業に励まれた会員の皆さまのおかげです。

5年度も「自主・自立＝自分たちのものとして考える・自分たちの力で育てる」「共働・共助＝一緒になって働く・たがいに助け合う」のシルバー人材センターの基本理念に基づき、以下の事業に取り組みました。

1 新規就業開拓による新入会員促進と退会会員抑制および女性会員拡大の取組

毎月第3水曜に行っている入会説明会の参加人数は年間で55名となり、会員数は前年度末398名と同数を維持しています。また、全会員数に占める女性会員の割合は42.2%で前年比プラス2.0ポイントとなり、女性会員拡大の取組の成果といえます。

2 加東シニアいきいきポイント事業等地域社会に密着した新規事業等の開拓とインボイス制度対応・周知への取組

インボイス制度対応で事務費率を10%から15%に引き上げ、請負等事業での民間取引額はプラス4.4%、6,893千円の増額となり、公共取引額は上述の要因でマイナス7.6%、9,478千円の減額。逆に派遣事業全体ではマイナス9.2%でしたが、学校給食センター等の公共取引額が新たに5,410千円皆増し、請負事業等と派遣事業を合わせた全体では、前年度と比べマイナス1.2%、3,476千円の減額となりました。

加東シニアいきいきポイント事業を受託。活動を希望する市内高齢者26名を登録し内15名を17施設とマッチングさせ、事業目的の「介護施設でのボランティア活動に参加することで、自身の介護予防や生きがいにつなげる」を推進。

3 安全就業の取組

安全就業対策実施計画に基づき、就業現場での安全就業への取り組みを安全パトロールで確認し、安全作業・意識の啓発を行いました。傷害5件、損害賠償・修理等11件の計16件と多くの事故が発生しました。とくに5年度は就業中・途上での交通事故が3件も発生し安全運転が強く求められる結果となり、また、草刈作業での飛石による車両や家庭サッシ等の損害賠償額が非常に高額となる傾向が止まらず、会員の安全意識の醸成や危機管理の啓蒙・推進が喫緊の課題です。

4 高齢者の就業に関する情報の収集・提供および調査研究の取組

(公社)全国シルバー人材センター事業協会(以下「全シ協」という。)や(公社)兵庫県シルバー人材センター協会(以下「兵シ協」という。)、関係行政機関、民間から発信される関連情報を収集し、会員へ適時、就業・求人情報の提供を行いました。

5 高齢者に対する就業相談の実施ならびに就業機会の確保および提供の取組

仕事と就業希望会員のミスマッチを解消するために、

- (1) 会員・未就業会員の就業相談・就業情報提供
- (2) 入会説明会時も含め、入会希望会員の就業相談

を随時行い、また、月1回、会員自らが行う西脇ハローワークでのPR活動・就業相談を北播磨4SC共同で実施しました。

6 高齢者等に対する講習会などの開催の取組

厚生労働省の委託(補助)事業である「高齢者活躍人材確保育成事業」で未入会高齢者と現会員を対象に、「刈払機取扱作業安全衛生教育講習会」を5月、「リージョナルサポート講習会」および実地体験会を6月に実施。計54名の参加がありました。また、会員のDX推進を図るため、1月～3月にかけて4回のスマートフォン教室を開催しました。

7 一般労働者派遣事業(シルバー派遣事業)の実施

兵シ協が実施する一般労働者派遣事業(シルバー派遣事業)の加東市事務所として、高齢者の就業に適した業務に係る雇用を希望する会員を14名、5事業所へ派遣。5年度から加東市学校給食センターと図書館の2事業所での配送等業務が始まりました。

8 インボイス制度に対応するため財政措置に向けての取組

令和11年度に完全実施となるインボイス制度による消費税納付額を確保するため。事務費率を15%とし、特定準備資産積立に向けて財政基盤を強化した結果、約6,000千円を翌年度へ繰越できました。

9 会員の親睦および相互共助ならびにセンター発展のための取組

4年ぶりとなる互助会活動を再開。会員親睦旅行や市内3地域に分かれての公共施設等の清掃ボランティア活動を実施しました。

(令和6年3月31日現在の会員数)

(単位：人)

前年度末会員数			入会者数			退会者数			今年度末会員数			会員平均年齢(歳)		
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
238	160	398	30	31	61	38	23	61	230	168	398	74.4	73.8	74.2

(令和6年3月31日現在の母体人口と粗入会率)

(単位：人・%)

加東市(母体)の人口			左のうち60歳以上人口		
男性	女性	合計	男性	女性	合計
19,536	19,926	39,462	6,053	7,207	13,260
粗入会率(会員数/60歳以上人口)			3.8%	2.3%	3.0%

(令和5年度事業の開拓実績)

区分	受注件数(件)			契約金額(円)			配分金(賃金)	就業延人員(人)	就業実人員(人)
	公共事業	民間事業	計	公共事業	民間事業	計			
職業分類									
請負等事業	事務的職業	29	18	47	6,112,007	1,196,346	7,308,353	6,353,138	1,319
	サービスの職業	12	22	34	6,188,094	20,066,701	26,254,795	22,858,407	4,921
	農林漁業の職業	92	226	318	10,144,529	13,237,515	23,382,044	17,873,680	2,721
	生産工程の職業	1	7	8	7,452	13,764,752	13,772,204	11,954,935	2,247
	輸送・機械運転の職業	2	0	2	106,428	0	106,428	92,530	25
	建設・採掘の職業	1	1	2	130,592	2,967	133,559	116,100	18
	運搬・清掃・包装等の職業	608	578	1,186	92,405,052	113,871,849	206,276,901	160,135,116	37,332
	小計	745	852	1,597	115,094,154	162,140,130	277,234,284	219,383,906	48,583
派遣事業	販売の職業	0	4	4	0	2,023,065	2,023,065	1,627,201	348
	輸送・機械運転の職業	4	0	4	5,410,465	0	5,410,465	4,147,030	866
	運搬・清掃・包装等の職業		8	8	0	1,314,357	1,314,357	1,008,322	235
	小計	4	12	16	5,410,465	3,337,422	8,747,887	6,782,553	1,449
合計	749	864	1613	120,504,619	165,477,552	285,982,171	226,166,459	50,032	

※就業実人員合計が請負等事業と派遣事業の計と合致しないのは会員が重複のため

(令和5年度請負等事業およびシルバー派遣事業実績一覧)

項 目		受注件数 (件)	契約金額 (円)	就業延人員 (人)	就業実人員 (人)	就業率
請負等事業	令和4年度	1,639	279,819,769	50,907	378	95.0%
	令和5年度	1,597	277,234,284	48,583	377	94.7%
	前年度比較	▲ 42	▲ 2,585,485	▲ 2,324	▲ 1	-0.3%
シルバー派遣事業	令和4年度	15	9,638,458	1,343	14	100.0%
	令和5年度	16	8,747,887	1,449	15	100.0%
	前年度比較	1	▲ 890,571	106	1	0.0%
合 計	令和4年度	1,654	289,458,227	52,250	392	98.5%
	令和5年度	1,613	285,982,171	50,032	385	96.7%
	前年度比較	▲ 41	▲ 3,476,056	▲ 2,218	▲ 7	-1.8%

※就業実人員合計が請負等とシルバー派遣の計と合致しないのは会員が重複のため

(契約金額の推移)

年度	契約金額	前年比	年度	契約金額	前年比
平成4年度 (10.1~3.31)	42,455,032円		平成20年度	307,237,394円	-3.7%
平成5年度	114,594,744円	169.9%	平成21年度	300,720,645円	-2.1%
平成6年度	166,762,906円	45.5%	平成22年度	321,764,118円	7.0%
平成7年度	205,445,211円	23.2%	平成23年度	288,537,313円	-10.3%
平成8年度	241,281,073円	17.4%	平成24年度	290,927,008円	0.8%
平成9年度	249,885,948円	3.6%	平成25年度	278,272,543円	-4.3%
平成10年度	278,592,224円	11.5%	平成26年度	294,140,282円	5.7%
平成11年度	313,024,667円	12.4%	平成27年度	285,972,334円	-2.8%
平成12年度	343,421,731円	9.7%	平成28年度	276,119,075円	-3.4%
平成13年度	322,728,511円	-6.0%	平成29年度	280,152,656円	1.5%
平成14年度	323,097,084円	0.1%	平成30年度	270,401,256円	-3.5%
平成15年度	329,531,183円	2.0%	令和元年度	288,660,609円	6.8%
平成16年度	339,794,235円	3.1%	令和2年度	275,474,321円	-4.6%
平成17年度	342,261,740円	0.7%	令和3年度	288,191,503円	4.6%
平成18年度	333,628,956円	-2.5%	令和4年度	289,458,227円	0.4%
平成19年度	319,117,618円	-4.3%	令和5年度	285,982,171円	-1.2%